

一、設立願

- ・ 設立に当たってはおぢばを向いて礼拝できるよう神床の位置を充分考慮すること。
 - ・ 上段は幅二間（三・六[㍺]）、奥行き二間（三・六[㍺]）以上にし、両脇に鳴物の場所を設けること。
 - ・ 土地建物が抵当に入っている場合は設立は認められない。
 - ・ 個人名義の土地・建物を借用する場合は設立は認められない。
 - ・ 出願に当り各願書に教区の經由印を得ると共に、視察巡教を受けた修理人の印を本願の經由印の上部に押印して貰う。
 - ・ 住居表示が実施されている所は、証明する公文書を添付して、その住所で願い出ること。
 - ・ 名称には原則として**教語・国名・大都市名等**を用いない。
 - ・ 既設教会と**同音、同字**の名称は認められない。
 - ・ 仮名のみは名称は避けること。但し**仮名**の名称については海外教会はその限りでない。
- （事前に教務課へ問い合わせて間違いないよう注意すること）

〔本願〕

- ・ 役員はそれぞれ住所を記入し、署名押印のこと。
- ・ 設立願のみ「**教会長予定者**」とし、以後の願はすべて「**教会長**」として記入のこと。

- ・ 印鑑はすべて実印を用いる。

〔鎮座祭日並奉告祭日御許願〕

- ・ 鎮座祭、奉告祭の日取りは、お許しを戴いた翌月二十四日までの日で願い出ること。

- ・ 鎮座祭の翌日に奉告祭を執り行うこと。

〔恒例祭日御許願〕

- ・ 春季大祭は一月、秋季大祭は十月で願い出ること。
- ・ 四月の月次祭を別の日につとめる場合は

「 月次祭 毎月〇日

（一月十月を除く）

（四月に限り〇日） 」

と付記して願うこと。

- ・ 本部及び上級教会の恒例祭の関連に注意すること。

〔項目書〕

- ・ 霊祭日を届け出ること。
- ・ 但し、当該教会長は実印を押すこと。

- ・ 別紙で由緒沿革を詳記する。

末尾に立教年月日及び教会長自署押印すること。

- ・ よふぼく数は十六名以上（内、教人五名以上）

別紙で教会長資格登録者・教人・よふぼく名簿を添付する。

同時に「教人所属変更届」及び「よふぼく所属変更報告」を提

出すること。

- ・境内地の地目及び地積は一筆毎連記すること。
- ・境内建物は一棟毎連記すること。
- ・「六、資産の状況」において請書による物件が無い場合は「神具一式」とする。

〔教会長資格登録者・教人・よふぼく名簿〕

- ・教会長資格登録者名簿
- ・登録年月日、住所、氏名、生年月日を一行にして記入。
- ・教人名簿
- ・登録年月日、住所、氏名、生年月日を一行にして記入。
- ・よふぼく名簿
- ・おさづけの理拝戴年月日、住所、氏名、生年月日を一行にして記入。

- ・願人及び所属教人は事前に教務課の台帳と照合のこと。
- ・教人の登録は設立願と同時出願は認められない。

〔請書〕

- ・土地又は建物の寄付を受けた場合は、寄付証書の写し及び請書。
- ・土地又は建物を購入した場合は売買契約書の写し及び請書。
- ・上級教会の所有物件を借り受ける場合は請書は不要。
- ・「土地及び建物使用承諾書」を添付。

〔添付書類〕

①境内地内建物配置図・平面図及び付近見取図

- ・各図面には北方位を示し（黒線）、配置図・付近見取図及び神殿平面図にはおちば方位を明示（朱線）すること。
- ・建物平面図は原則として縮尺100分の1程度とし、実寸をメートル法で記入して、用途及び畳数を記入すること。
- ・平面図には親神様、教祖、祖霊様、上段、礼拝場、神饌場、事務所、信者室等を用途別に記入すること。
- ・境内建物配置図は縮尺250分の1程度として境内建物の全部を記入すること。

- ・付近見取図は、交通機関も含めた詳細なものとすること。

②「土地建物登記簿謄本又は登記事項証明書」

- ・法務局にて申請、取得できる。
- ・交付日から三ヶ月以内のものであること。
- ・建物が未登記の場合は、建築証明書又は建築確認書等、建物の実在を示す証明書及び建物謄本不添付理由書が必要。

③教会長予定者の「履歴書」

- ・教務課備え付けの所定の履歴書用紙を使用し墨書にて記入すること。
- ・教会長予定者の氏名、本籍地は身分証明書に記載されている通りに記入すること。

- ・ 現住所は教会所在地を記入すること。
- ・ 末尾に自署押印（実印）すること。

④教会長予定者の「身分証明書」

- ・ 本籍地の市町村区役所にて申請、取得できる。
- ・ 交付日から三ヶ月以内のものであること。
- ・ 戸籍謄本（抄本）戸籍記載事項証明書などは不可。

⑤教会長予定者の「登記されていないことの証明書」

- ・ 「登記されていないことの証明書」とは、教会長予定者が成年被後見人、被保佐人、被補助人等の登記をされていないことの証明書。法務局にて申請、取得できる。
- ・ 交付日から三ヶ月以内のものであること。

設 立 願	
設立場所	〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号
天理教	〇〇 ふりがな 分教会
右教会を設立したいので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
〇〇県〇〇市〇〇町壱番地壱	
役員	〇 〇 〇 〇 印
〇〇県〇〇市〇〇町貳番地貳	
役員	〇 〇 〇 〇 印
天	天 理 教
天理教	〇〇 分教会長 予定者
〇 〇 〇 〇	実印
天理教（直属）教会長	
（※直属教会長自筆） 職印	
真柱 中山善司 殿	

恒例祭日御許願	
設立場所 ○○県○○市○○町壱丁目貳番参拾号	
天理教	ふりがな ○○○分教会
春季大祭	一月 日
秋季大祭	十月 日
月次祭	毎月 日
(二月十月を除く)	
右のように定めたので何卒お許し下さるようお願い申し上げます	
立教	年 月 日
天	天理教
天理教	○○○分教会長
○○○	実印
天理教(直属)教会長	
(※直属教会長自筆) 職印	
真柱 中山善司 殿	

設立項目書	
一、霊祭	
春秋霊祭を執行する	
二、由緒沿革	
別紙の通り	
三、教会長資格登録者、教人、よふぼく及び信者数	
教会長資格登録者 ○名、教人 ○名、よふぼく ○○名、信者 ○○名	
四、境内地の地目及び地積	
○○○	○○○、○○○平方メートル
天	天理教
五、境内建物	
○○造○○葺	平家建 神殿 壺棟
床面積	○○○、○○○平方メートル
○○造○○葺	貳階建 教職舎 壺棟
床面積	壺階 ○○、○○○平方メートル
貳階	○○、○○○平方メートル
六、資産の状況	
請書による物件及び神具一式	
七、土地建物の所有者の住所及び氏名	
土地建物共	

〇〇県〇〇市〇〇町壱丁目貳番参拾号	
天理教 〇〇 分教会	
八、設立費予算額	
一、金	万円也
収入の途	
一、金	万円也
支出の途	
一、金	万円也
内訳	
一、金	万円也
天理教	土地建物購入費
一、金	万円也
神殿造作費	
一、金	万円也
祭神具購入費	
一、金	万円也
奉告祭費	
一、金	万円也
出願費	
九、一力年收入予算額	
一、金	万円也
十、系統位置	
〇〇大教会、〇〇分教会、〇〇分教会	

由緒沿革		
天理教		
天理教		
立教		
年	月	日
天理教 〇〇 分教会長		
〇	〇	〇
実印		

